

総合的な学習の時間－7（第5学年） 学んできたことを関連付け表現する力を育成する事例  
【学習活動の概要】

<p>1 単元名 わたしたちの町に伝わる人形浄瑠璃</p>																		
<p>2 単元の目標 地域に伝わる「人形浄瑠璃」を調べ、そのよさを伝える活動を通して、地域の伝統文化の価値や特長、伝統文化を守るうとする人々の思いなどを知り、地域への誇りと愛着をもち、地域の一員として生きていこうとする。</p>																		
<p>3 評価規準 【関心・意欲・態度】「人形浄瑠璃」について調べたり、伝えたりしようとしている。 【思考・判断・表現】調査の結果をポスターセッションなどによって統合し表現している。 【技能】資料を活用したり、地域の人にアンケートを取ったりして調べている。 【知識・理解】「人形浄瑠璃」の歴史や特長と地域の保存会の組織的な取組の様子が分かっている。</p>																		
<p>4 教材 本単元の中心的な教材となる地域に伝わる人形浄瑠璃「灯籠人形」は、江戸時代半ばに福島町民が独自の工夫をして人形の燈籠を奉納したのが始まりだといわれている。3層2階建の釘や鋸(かすがい)を1本も使用しない屋台が秋分の期間中だけ組み立てられ、囃子にあわせてからくり人形芝居が上演される豊かな地域の民族芸能である。 この地域に伝わる貴重な「灯籠人形」について追究していくことを本単元の中心的な活動とする。さらには、「灯籠人形」のよさを広く地域に発信していくことで、伝統文化の価値やそれを守り続けてきた保存会の取組、地域の人々の強い思いなどを知ることにつなげていく。</p>																		
<p>5 主な学習活動 (1)単元の展開（全58時間）</p> <table border="1" data-bbox="231 996 1420 1680"> <thead> <tr> <th></th> <th>学習活動</th> <th>言語活動に関する指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一次</td> <td>○「灯籠人形」を実際に見学し、屋台や人形、祭りに関心をもつ。(10)</td> <td>・「灯籠人形」や祭りの写真から必要な情報を取り出し、祭りにかける地域の人々の思いを考える。</td> </tr> <tr> <td>第二次</td> <td>○「灯籠人形」の秘密と特長を探るために、地域に出かけ調査活動を行う。(12)</td> <td>・アンケート調査や聞き取り調査などを行い、地域の人々の生の声をデータとして収集する。</td> </tr> <tr> <td>第三次</td> <td>○「灯籠人形」を守る人の取組を知り、その思いや活動を調べる。(12)</td> <td>・地域での調査で出会った人などに学校に来てもらい、その思いや取組、活動の様子を聞き取る。</td> </tr> <tr> <td>第四次</td> <td>○「灯籠人形」の操作や祭囃子を学び練習することを通して、その意味や価値を考える。(6) ○「灯籠人形」の秘密をポスターにまとめ、ポスターセッションで情報交換する。(8:本時 2/8)</td> <td>・「灯籠人形」の工夫や祭りの中に隠された人々の知恵や工夫を明らかにし、ポスターを使ってまとめる。</td> </tr> <tr> <td>第五次</td> <td>○活動を振り返り、「灯籠人形ガイドブック」を作成し、地域の人や祭りの観光客に発信していく。(10)</td> <td>・ガイドブックはフォーマットを提示し、「灯籠人形」の特長や歴史的価値、地域の人々の願などを記すようにする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)本時の学習 ポスターセッションに向けてポスターを作製する中で、最も伝えたいことを明らかにしながら絵や文字で分かりやすく表現する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①ポスターセッションの開催の趣旨を理解する。 ②モデルとなるポスターを見ながら、ポスター作成上のポイントを考える。 ③キャッチコピーと写真や絵を考え、全体の構成を検討する。 ④ポスターの概要をアイディアスケッチとして表現する。</p> </div>		学習活動	言語活動に関する指導上の留意点	第一次	○「灯籠人形」を実際に見学し、屋台や人形、祭りに関心をもつ。(10)	・「灯籠人形」や祭りの写真から必要な情報を取り出し、祭りにかける地域の人々の思いを考える。	第二次	○「灯籠人形」の秘密と特長を探るために、地域に出かけ調査活動を行う。(12)	・アンケート調査や聞き取り調査などを行い、地域の人々の生の声をデータとして収集する。	第三次	○「灯籠人形」を守る人の取組を知り、その思いや活動を調べる。(12)	・地域での調査で出会った人などに学校に来てもらい、その思いや取組、活動の様子を聞き取る。	第四次	○「灯籠人形」の操作や祭囃子を学び練習することを通して、その意味や価値を考える。(6) ○「灯籠人形」の秘密をポスターにまとめ、ポスターセッションで情報交換する。(8:本時 2/8)	・「灯籠人形」の工夫や祭りの中に隠された人々の知恵や工夫を明らかにし、ポスターを使ってまとめる。	第五次	○活動を振り返り、「灯籠人形ガイドブック」を作成し、地域の人や祭りの観光客に発信していく。(10)	・ガイドブックはフォーマットを提示し、「灯籠人形」の特長や歴史的価値、地域の人々の願などを記すようにする。
	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点																
第一次	○「灯籠人形」を実際に見学し、屋台や人形、祭りに関心をもつ。(10)	・「灯籠人形」や祭りの写真から必要な情報を取り出し、祭りにかける地域の人々の思いを考える。																
第二次	○「灯籠人形」の秘密と特長を探るために、地域に出かけ調査活動を行う。(12)	・アンケート調査や聞き取り調査などを行い、地域の人々の生の声をデータとして収集する。																
第三次	○「灯籠人形」を守る人の取組を知り、その思いや活動を調べる。(12)	・地域での調査で出会った人などに学校に来てもらい、その思いや取組、活動の様子を聞き取る。																
第四次	○「灯籠人形」の操作や祭囃子を学び練習することを通して、その意味や価値を考える。(6) ○「灯籠人形」の秘密をポスターにまとめ、ポスターセッションで情報交換する。(8:本時 2/8)	・「灯籠人形」の工夫や祭りの中に隠された人々の知恵や工夫を明らかにし、ポスターを使ってまとめる。																
第五次	○活動を振り返り、「灯籠人形ガイドブック」を作成し、地域の人や祭りの観光客に発信していく。(10)	・ガイドブックはフォーマットを提示し、「灯籠人形」の特長や歴史的価値、地域の人々の願などを記すようにする。																

## 【解説】

### 【指導事例と学習指導要領との関連】

小学校学習指導要領・総合的な学習の時間の第3の2の(2)「問題の解決や探究活動の過程においては、他者と協同して問題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動が行われるようにすること。」と示している。

言語によりまとめたり表現したりする学習活動では、分析したことを文章やレポートに書き表したり、口頭で報告したりすることなどが考えられる。文章やレポートにまとめることは、それまでの学習活動を振り返り、体験したことや収集した情報と既存の知識とを関連させ、自分の考えとして整理することにつながる。それらの報告の場として、学級全体で学習成果を共有する場面が想定される。参加者全員の前で行うプレゼンテーションや目の前の相手に個別に行うポスターセッションなど、多様な形式を目的に応じて設定することが考えられる。

本事例は、「灯籠人形」について調査してきたことや学んできたことを、ポスターセッションの手法で情報交換し互いの学習の成果を共有していく場面である。ポスターの作成では、最も伝えたいことをキャッチコピーにし、写真や絵と組み合わせて表すことにした。シンボリックな言葉と映像との組合せで表す活動を通して、学んできたことを関連付け表現する力が育成されることを期待した。

### 【言語活動の充実の工夫】

#### 一ポスターを作成するための

#### 話し合い活動一

お互いの学習成果を共有するためのポスターセッションに向けて、モデルのポスターから、キャッチコピーと映像による伝達の重要性が明らかになった。そこで、各自のポスターの作成に当たっては、

- 最も伝えたいことをキャッチコピーとして表現すること
  - そのキャッチコピーを分かりやすく表す写真や絵を決めること
- を次のような手順で行った。

①ポスターセッション開催の趣旨について意見交換し共通理解する。

↓  
②モデルとなるポスターを分析し、ポスター作成のポイントを考える。

↓  
③「キャッチコピー」「写真や絵」の重要性を確認し、自分のポスターでは、どのような言葉がよいかをそれまでの活動の記録をもとに考える。

↓  
④自分で考えたキャッチコピーにふさわしい写真や絵は、どのようなものがよいかをそれまでの活動をもとに考える。

↓  
⑤キャッチコピーや写真・絵を使って、ポスターをアイデアスケッチとして表現する。

キャッチコピーを決めるには、それまでの学習の中で獲得した情報を選別し、統合する思考力が求められる。優先すべきことを考え、選び出した情報をつなぎ合わせながらキャッチコピーとして表現していかなければならないからである。また、キャッチコピーをよりよく表す写真や絵を検討することは、キャッチコピーに関連のある情報を改めて確認することでもある。こうして、情報を関連付けて出来上がったキャッチコピーのイメージを確かなものにしていく。

